

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和2年度 第1回
開催日時	令和2年8月18日（火曜日） 午後6時00分から7時30分まで
開催場所	田無第二庁舎 5階会議室
出席者	出席：井上委員、小澤委員、苺草委員、喜多野委員、小松委員、笹川委員、篠宮委員、鈴木委員、平委員、中村委員、堀内委員、山田委員、山辺委員 欠席：小林委員 事務局：白井課長、福田係長、藤野主査
議題	(1) 委嘱状交付 (2) 市長挨拶 (3) 委員長・副委員長選出 (4) 自己紹介 (5) 西東京市男女平等参画推進委員会の運営等について (6) 今後の日程について (7) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画（令和元年度）評価報告書について (8) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 西東京市第2次基本構想・基本計画【概要版】 (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画【冊子・概要版】 (3-1) 西東京市市民参加条例 (3-2) 西東京市市民参加条例施行規則 (4) 西東京市男女平等参画推進委員会傍聴要領 (5) 令和2年度西東京市男女平等参画推進委員会 会議日程案 (6) 西東京市男女平等参画推進委員会委員一覧 (7) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画（令和元年度）評価報告書 (8-1) 西東京市第4次男女平等参画推進計画の評価方法について (8-2) 第4次男女平等参画推進計画委員会評価 換算表

	<p>(8-3) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画 事業実績評価(令和元年度)の進め方について</p> <p>(9-1) 委員会評価報告書(基本目標1~4)</p> <p>(9-2) 重点課題別評価レイアウト</p>
<p>記録方法</p>	<p><input type="checkbox"/>全文記録 <input checked="" type="checkbox"/>発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/>会議内容の要点記録</p>
<p>会議内容</p>	
<p>【開会】</p> <p>○白井課長：これより第1回男女平等参画推進委員会を開催する。 事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。</p> <p>(1) 委嘱状交付</p> <p>委嘱状が交付された。</p> <p>(2) 市長挨拶</p> <p>市長から挨拶があった。(市長・部長退席)</p> <p>(3) 委員長・副委員長選出</p> <p>事務局より配布資料を確認した。</p> <p>○事務局：西東京市男女平等参画推進委員会条例第5条の規定のより、委員長及び副委員長は委員の互選により定められている。委員長への立候補又は推薦を伺う。 小澤委員が推薦され、拍手で承認された。</p> <p>○事務局：副委員長への立候補又は推薦をお願いしたい。 安田委員が選出され、拍手で承認された。 小澤委員長、安田副委員長が就任の挨拶をした。</p> <p>(4) 自己紹介</p> <p>委員長が選出されたので議事進行を事務局から委員長に引き継いだ。 各委員・事務局が自己紹介をした。</p> <p>○委員：初めて市民委員に応募した。コロナ禍で家族全員が家にいる状況になったが、和やかに過ごすことができた。子どもが小さいころから夫が忙しいながら一緒に子育てをしてきたので、家族としてのまとまりがあったのかと思う。男女の共同について意義を感じ、今回応募した。</p> <p>○委員：大学で講師をしている。専門は日本語教育、多文化教育で、NPO法人西東京市多文化共生センターの代表もしている。地域に住んで30年余り、地域で外国人に関わること、PTAなど様々な活動をしてきた。外国人に関わる中で、男女の問題が特に弱い人の中に出てくると感じる。多文化共生と男女平等は近い関係にあると思う。これから色々学ばせていただきたい。</p>	

- 委員：西東京青年会議所に所属している。スポーツマッサージの仕事をしている。来年度から青年会議所の東京ブロック協議会の防災分野に関わることになったので、防災における男女平等について勉強して、提言できるようにしていきたいと思っている。
- 委員：3期目になります。5歳と1歳の子の子育てをしている。まだまだ分からないことが多く、ここで学ばせていただきたいと思っている。
- 委員：女性と子どもの人権を守る認定NPO法人の代表をしている。今は主にDV被害者支援を行っている。コロナ禍で相談が増え、内閣府の委託を受け24時間相談を行っているが、電話が鳴りっぱなしで、児童虐待やデートDVの相談もあり、本当に影響が出ていると感じる。
- 委員：シチズン労働組合で働いている。労働組合として男女平等参画を推進するための活動を行っている状況で、そうした中で皆様と一緒に活動させていただくことで勉強させていただければと思っている。同一労働同一賃金の問題などもあり、学びながら皆様にもお返しできればと思っている。
- 副委員長：東久留米市で男女平等推進センターのコーディネーターを、9年間している。それ以前は市民の立場で男女平等の活動をしてきた。それぞれの立場で見方が違う面もあるが、対立ではなくどうやって前に進めていくか、考えていければと思っている。コロナ禍で男女格差があることがまざまざと見えてきた。男女平等を進めたいと思うと同時に、今後も今までのやり方でいいのか、皆様と考えていきながら、ジェンダー平等の実現を目指したいと思う。
- 委員長：前回に引き続き委員長を務めさせていただく。議論が活発な委員会だと思うので、最低限のルールを決めて、楽しく議論できる委員会にしていきたい。
- 委員：初めて委員をお受けした。いくつかの大学の非常勤講師として文化人類学、ジェンダー論などを教えている。また北区の男女共同参画センターのアドバイザーをしている。他に国際ジェンダー学会の理事をしている。日本はジェンダーギャップ指数が低い、一見男女平等社会と捉えられることが多くあり、最近の学生の間では女性が優位だというような意見も多い。現状どのような問題があるか知られていないことが多いので、皆様とお話しさせていただき、いろいろと自分も学んでいきたい。
- 委員：市民活動推進センターでセンター長をしている。夫の仕事で子どもとネパールで生活した後西東京市に帰国した。ネパールは文化・風習的に女性が虐げられている国でなぜ？と考えさせられたが、日本でも男性優位のしきたりのようなものが残っていて、子供の頃からジェンダー的なりテラシーがとても必要だと気づいたのが、最初に委員に応募したきっかけだった。毎年評価しても変わらないことも多いが、男女平等意識が子どもの世代から当たり前のような西東京市を作っていくために、きちんと評価をして各課に返していきたい。
- 委員：社会福祉士の知識を基に、心理カウンセラーとして2年ほど前からフリーで電話相談を行う仕事をしている。独立したきっかけは、それまでフルタイム勤務で仕事で帰りが遅く、子どもと向き合う時間がなく、体力的にもきつく、本当にワーク・ライフ・バランスの必要性を感じたため。コロナ禍で女性からの相談がすごく増えている。委員会では専門家として市民として、いろいろな視点で意見を述べたり、皆様からの意見を伺いたいと思っている。

- 委員：0～2歳児の小規模保育所で保育士をしている。子どもの育ちを見ていると、男の子がおままごとを大好きだったり、女の子が自分のことを僕と言ったりしていて、彼らの中では男女平等が当たり前なのだという気がする。子供の相談も増えているし、外国人の母親からの相談も増えている。この委員会で学んだり色々な方とつながりを持つことができありがたく思っている。
- 委員：西東京市民生委員協議会の会長をしている。今年4月に民生・児童委員の欠員が解消されたが、今一番つらいのはコロナ禍で独居老人と直接会えないこと。ドア越し、網戸越しで話している。地域の見回りも含めて、コロナ禍で民生委員としてどう対応したらいいか、皆様とも議論できればと思っている。
- 委員：ひばりが丘中学校で校長をしている。この4月から市内全9中学校で男女混合名簿を始めることができた。第3次計画の課題を大きく改善できた。
- 課長：6月頃に委員会を開催する予定だったが、新型コロナの影響で開催できなかった。消毒・換気など、いろいろご不便をおかけするが、市のルールに則って会議を進めていきたい。2年間よろしく願っています。
- 係長：本委員会の担当をさせていただいている。改めて今回委員をお引き受けいただきありがとうございます。
- 主査：啓発事業を担当している。新型コロナの影響で講座が実施できなかったが、9月から再開する準備をしている。コロナの状況によってはオンライン講座になる場合もある。皆様にもぜひご参加いただければと思っている。

(5) 西東京市男女平等参画推進委員会の運営等について

- 委員長：事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局：市長の委員会に依頼文書を預かっている。皆様には後ほど写しを配布する。

依頼事項

西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の令和元年度実績評価について

依頼理由

西東京市は、国の男女共同参画社会基本法に基づき、平成31年3月に「西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画」を策定しました。

同計画では、計画を着実に実行するためには、計画に記載された施策の進捗状況を毎年把握する必要があり、西東京市男女平等参画推進委員会において、事業評価を毎年実施することとしています。同計画の令和元年度の事業実績について評価していただくよう、依頼いたします。

- 事務局：傍聴の人数を決めていただきたい。前任期では5人だったが、コロナの関係で会議室の利用が定員の半分までとなっており、また特別定額給付金や国勢調査の関係で広い会議室が確保できないことから、3人程度が妥当と思われる。

- 委員長：3人という事務局案でよいか。
(3人で承認された。)
- 事務局：配布資料に沿って、西東京市における男女平等参画推進計画の位置づけ、計画の体系、委員会の役割等について説明した。
- 委員長：委員会の運営について説明をお願いしたい。
- 事務局：西東京市市民参加条例第8条に基づき、会議は原則公開されている。第9条で会議録の作成、公開が定められている。西東京市市民参加条例施行規則第4条により会議録の記録の方法を選択していただきたい。前任期では「発言者の要点記録」だった。
- 委員長：「発言者の発言内容ごとの要点記録」と「会議内容の要点記録」の違いは。
- 事務局：前者は発言者の発言要旨、後者は個別の発言内容ではなく会議全体の要旨をまとめたものである。後者の会議録は担当は作成したことがない。
- 委員長：これまでの会議録で支障がなかったこと、担当も後者が不慣れであれば、これまでどおり前者でよいかと思うが、他に意見はあるか。
(意見なし)
- 委員長：なければ「発言者の発言内容ごとの要点記録」としたい。
(「発言者の発言内容ごとの要点記録」で承認された。)

(6) 今後の日程について

- 委員長：日程案について、事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局：今年度は昨年度より1回少ない5回となっている。今後の開催日程は、審議内容から9・10・11・1月としたい。また事前に伺った限り第4火曜日は皆様ご都合の悪い方はいらっしゃいませんでした。会場については、男女平等推進センターが交通の便が不便なことから、交通の便のいい田無庁舎周辺としたい。会議時間はコロナの関係で当面90分以内となるが、開始時間については午後6時からでよいか。以上3点について確認をお願いしたい。
- 委員長：事務局提案の内容でよいか。
- 委員：オンライン開催の可能性はいかがだったのか。
- 事務局：オンライン対応が可能でない方が複数いらっしゃったので、現時点では考えていない。
- 委員：例えば多摩六都の会議では、集まれる人は集まり、そうでない人はオンラインで参加、ということをやっているが。
- 事務局：西東京市では現在タブレット端末の準備などしている段階で、ある程度数が確保できればパリテに来ていただき、そこからオンラインで参加、ということも考えられる。
- 委員長：オンライン参加が可能な人は多いと思うが、市の方で受けられるのか。例えば会議室にディスプレイなどを置いて映すことができるのか。
- 事務局：現時点では態勢が整っていないので、整い次第ご相談させていただきたい。

(7) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京

市女性の職業生活における活躍推進計画（令和元年度）評価報告書について

- 委員長：事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局：詳細をご説明する時間がなくなってしまったので、資料8-3に示したグループ割案をご覧いただき、8月28日までにご意見をいただきたい。それに基づき、事務局で分担案を決めさせていただきます。
- 委員長：分担が決まったら次回までに自分の担当箇所に通してくる程度でよいのか。
- 事務局：できれば少し取り掛かっていただきたいと思っている。次回までに完成していなくても結構なので、まずはやってみていただきたい。詳細はメール等でご連絡させていただく。また、どなたにとっても初めての評価方法なので、不明な点などあれば事務局に問い合わせさせていただきたい。

- 委員長：本日はこれにて散会する。お疲れさまでした。

【閉会】